
佐久間隼人の異世界見聞録

御巫 銀

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

佐久間隼人の異世界見聞録

【Nコード】

N2846J

【作者名】

御巫 銀

【あらすじ】

高校二年生の佐久間くんが異世界でがんばるお話。

龍を軽々と殺すだけの力を揮って今日も元気に生き抜きます。

第一話 佐久間青年旅立つ（前書き）

連載中の小説があるにも関わらず新しい作品を執筆しはじめる身の程知らずですがどうぞよろしく。

第一話 佐久間青年旅立つ

第一話 佐久間青年旅立つ

「突然だが、君にはこの世界から消えてもらおう」

「うわっ！びっくりした！何だオマエ」

いつものように帰宅し、パソコンを起動しニコ動を見ていると一瞬画面が暗くなり、

故障かなと思った次の瞬間には欧米人らしき中年のオッサンが画面いっぱい映っていて

そんなことをのたまった。

「我は神だ」

「クソ！新手のウイルスかよ、性質悪いなあ」

俺はオッサンを無視し、ウイルスバスターを起動する。

「ハッハッハ、神にウイルスバスターが効くと思っておるのかね？
つて痛っ！ちょ、ヤメ！

イタタタタ、ごめんなさい、許して！」

最初は余裕の態度だった神（自称）だが、暫くすると呻きだし、半泣きで謝罪してきた。

オッサンがディスプレイに顔をへばりつけてきたので、気持ち悪くなった俺はもう一つの

ウイルスバスターをサポートするためのソフトを起動した。

「くっ、この私がウイルスバスター如きに、やられはせんぞぉ！」

フシューウウウウ

「おっ、俺のパソコンがあぁ！」

オッサンが雄たけびを上げるとパソコンの電源が消え、ディスプレイから白煙が上がる。

「初めて存在の危機を感じたな・・・さすがはマ　フィーといったところか」

いつの間にか俺の部屋に入っていたさっきのオッサンの声が後ろから聞こえたがそんなこと

はどうでもいい。

「俺のパソコン・・・」

「そろそろ本題に入らせてもらおう。君の魂はこの世界のモノでは無いので元の世界に

戻させてもう。それだけだ」

「それだけだ、って何で今？俺今年で17になるんだが、今まで何やってたん？」

「うっ、それはまあ、あれだ、発見が遅れたんだ。決してサボってた訳じゃないからな」

見事に墓穴を掘っている神であった。

「安心しろ、ちゃんと元の魂が持っていた能力も復元してやる」

「いや、そんなのいいですから家から出てってもらえます？」

「いや、もうすでに準備はできている。グッドラック！」

そういつてサムズアップするおっさん。同時に足元が消失し、浮遊感に包まれる。

「グッドラックじゃねえええ！」

第一話 佐久間青年旅立つ（後書き）

というわけで始まりました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2846j/>

佐久間隼人の異世界見聞録

2011年1月18日23時46分発行